

# 会 議 録

## 1 会議名

第2回浦川原区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1)報告（公開）

ア 会長報告

（報告なし）

イ 委員報告

（報告なし）

ウ 市からの報告

- ・小・中学校普通教室空調設備設置工事について
- ・次期総合公共交通計画の策定について

### (2)協議（公開）

ア 令和元年度 浦川原区地域活動支援事業の審査について

①提案者によるプレゼンテーション及び個人審査

②全体審査

### (3)その他（公開）

ア 次回の開催日時等について

## 3 開催日時

令和元年5月25日（土）午後2時00分から午後7時10分まで

## 4 開催場所

浦川原地区公民館 3階 講堂

## 5 傍聴人の数

8人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：池田幸博、杉田和久、福井克利、藤田宏<sup>ニ</sup>禎<sup>ニ</sup>会長、前島邦子、村松清、村松進副  
会長、和栗恵子
- ・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、長谷川次長、総務・地域振興グループ山崎グル

ープ長、産業グループ田中グループ長、建設グループ渡辺グループ長、市民生活・福祉グループ五井野グループ長、太田保健師長、教育・文化グループ山崎グループ長、総務・地域振興グループ宮川班長、青木主事

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・出席者は8人。欠席委員は五十嵐広美委員、市村一雄委員、金子百合江委員、西山康博委員
- ・会議録の確認：村松進副会長に依頼。

### 【藤田会長】

次第の「2 報告」の「(1)会長報告」だが、本日は持ち合わせていない。次に「(2)委員報告」だが、委員の皆さんから何か報告事項はないか。

(会場内より「なし。」の声)

続いて「(3)市からの報告」で「①小・中学校普通教室空調設備設置工事について」と「②次期総合公共交通計画の策定について」併せて説明いただく。

### 【総務・地域振興グループ山崎グループ長】

(口頭及び資料1に沿って説明。)

### 【藤田会長】

委員の皆さんより質疑等を受ける。

### 【村松進副会長】

先日開催された浦川原地区公共交通懇話会に出席した。会議の中で、「廃止となるルートがあるが、住民にとっては必要なものであり、何とか継続してほしい」といった意見のほか、「上越総合病院へ直接乗り入れるバス等を検討してほしい」といった意見が出ていた。また、私から上越総合病院への通院時にバスを利用した場合、乗り換えに時間がかかり、半日以上かかってしまう。そのため、県立松代病院であれば、電車で移動できるため病院を変更された人もいることから、何とか乗換時間の短縮ができないかといった意見を出した。

### 【藤田会長】

他にご意見はないか。

(会場内より「なし。」の声)

それでは「3 協議」の「(1)令和元年度浦川原区地域活動支援事業の審査について」説明いただく。

**【総務・地域振興グループ山崎グループ長】**

(資料2、当日配布資料及び別紙1に沿って説明。)

**【藤田会長】**

委員の皆さんより質疑等を受ける。

(会場内より「なし。」の声)

これより休憩に入り、午後2時30分よりプレゼンテーション及び個人審査を行う。

(休憩後、午後2時30分より再開。)

**【藤田会長】**

これより浦川原区地域活動支援事業の①提案者によるプレゼンテーション及び個人審査に入る。

最初は、特定非営利活動法人保倉川太鼓の「第11回浦川原区和太鼓祭」である。初めに自己紹介をしていただき、この事業について説明をお願いします。なお、説明時間は6分以内とさせていただきます、時間になったら説明の途中でも打ち切りとさせていただきますので、ご協力をお願いします。

**【特定非営利活動法人保倉川太鼓】**

(第11回浦川原和太鼓祭の提案書及び当日配布資料に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑を受ける。いかがか。

**【池田委員】**

ここ数年、浦川原和太鼓祭の開催費用と和太鼓本体の購入に対して、地域活動支援事業に提案されている。この地域活動支援事業の配分額も当初より減額されてきて、この先も事業が継続して実施されるとは限らない。もし、この事業が廃止された場合に、どのように対応されるのかお聞きしたい。

もう一点、提案書に平成30年度の活動計算書の次期繰越正味財産額が675万4,543円と記載がある。また、貸借対照表の資産の有形固定資産の合計が600万円弱あり、流動資産の現金預金が82万9,684円ある。私は会計に関して専門家ではないが、固

定資産に対して流動資産がもう少し増えても良いのではないかと感じる。皆さんも、この流動資産を増やし、自立した活動を目指していると思うが、どのように考えているのかお聞かせいただきたい。

**【特定非営利活動法人保倉川太鼓】**

当団体の理事会、総会では話していないが、個人的に何年か前からこの地域活動支援事業が無くなったらどうすればよいか考えていた。もしこの事業が無くなって、他の補助金に頼らなければ開催できない場合は、公益財団法人日本太鼓財団からの支援や公益財団法人新潟県文化振興財団の事業等に頼ることとなる。しかしそれらの補助金は、事業費の50%や上限20万円など制約があるため、現在は、この地域活動支援事業に頼っている状況である。この地域活動支援事業が無くなった場合は、他の補助事業を探すことになる。また、他の補助事業が採択されない場合は自己資金で開催することになると思っている。

財産目録の中身に関してだが、池田委員のご指摘のとおりである。太鼓や道場のハード的なものが固定資産に計上され、毎年減価償却されていく。流動資産に関しては、現金預金が82万円強である。これは、昨年度に太鼓の修繕が4件生じて、60万円ほど使っている。他の計上経費や使わなければならないものがあり、そういったものが流動資産から減っていく。自費で太鼓を購入した場合には、流動資産から固定資産へ移っていくということになる。

法人の会計の経費の体質としては、池田委員の言われるように流動資産を増やしていかなければならないと考えている。

**【藤田会長】**

時間であるため、これで質疑は終了とする。

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【特定非営利活動法人保倉川太鼓】**

減額されても予定どおり事業を実施する。

**【藤田会長】**

それでは「第11回浦川原和太鼓祭」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

それでは次に「うらがわら雪あかりフェスタ」のプレゼンテーションをお願いします。

**【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】**

(うらがわら雪あかりフェスタの提案書に沿って説明。)

【藤田会長】

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

仮設トイレについてだが、どこに設置する予定なのか。

【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】

設置場所は、霧ヶ岳温泉ゆあみの下の駐車場である。

【藤田会長】

他にご意見はないか。

【池田委員】

この地域活動支援事業が廃止された場合、どのような対応を考えているのかお聞かせいただきたい。

【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】

現在は地域活動支援事業に全て頼っている状況である。次回から各企業より協賛をいただくような形にしていきたいと考えるが、今後の会議等の中で話し合っていきたい。

【藤田会長】

他にご意見はないか。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

【うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会】

減額されても予定どおり事業を実施する。

【藤田会長】

それでは、「うらがわら雪あかりフェスタ」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

続いて「地域活性化モデル事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】

(地域活性化モデル事業の提案書に沿って説明。)

【藤田会長】

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

提案書の内容を見させていただくと、購入する看板の日付が4月の第二週の土・日に開

催となっている。今後、開催日は固定されるのか。

**【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】**

過去5年間、第二週の土・日に開催させていただいた。今まではこの日程で桜も満開となり開催にはちょうど良かった。しかし今年は、非常に天気が良く開花が早いと周りからも言われて、第一週に開催したが、やはり1週間早かった。翌週がちょうどよかったと感じた。来年からは今までどおり、第二週が良いのではないかとということで、決めさせていただいた。

**【藤田会長】**

もう一点、決算報告書を見させていただくと流動資産が113万円ほどあり、今後、何か使われる予定や目的があるのかお聞かせいただきたい。

**【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】**

特に予定や目的については考えていない。

**【藤田会長】**

資産においては、償却していく固定資産もあるため、今後はその目録も提出願いたい。他にご意見はないか。。

**【村松進副会長】**

横断幕だが、テント地を使用するとあるが、横に長いものであり、風が吹いた場合の対処をどのようにするのか、横断幕を支える部分はどうされるのかお聞きしたい。

**【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】**

横断幕はこれから製作者と打ち合わせをするが、風で飛ばないようにするため生地に穴を開けて、単管にシートを縫い付けるといった方法が良いのではないかと考えている。

**【村松進副会長】**

横断幕に使用する生地は、風が抜けやすいメッシュなどもあると思うので、検討してほしい。風に吹き飛ばされたことで、事故等ないようにしていただきたい。

**【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】**

今のご意見を検討したい。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きした

い。

**【特定非営利活動法人浦川原桜つつみ公園を守る会】**

減額されても予定どおり事業を実施する。

**【藤田会長】**

それでは「地域活性化モデル事業」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「防災士会だより発行事業」のプレゼンテーションをお願いします。

**【上越市防災士会浦川原支部】**

(防災士会だより発行事業の提案書及び当日配布資料に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

**【村松進副会長】**

浦川原支部内に防災士は何人いるのか。私の町内会にも防災士がいるのだが、名簿に記載されていない。

**【上越市防災士会浦川原支部】**

上越市防災士会に加入している人の中で浦川原区に在住している人全員に声をかけさせていただいている。会費として上越市防災士会に1,000円と浦川原支部に1,000円である。入会は任意としているが、積極的に防災士会への加入をお願いしているところである。また、名簿に記載がないということは、何らかの事情で加入されていないのか、我々が把握していないということであれば教えていただき、入会を勧めていきたい。

**【藤田会長】**

浦川原支部の設立については、総合事務所からの要請と指導、助言があって立ち上げた経緯があるが、問合せ先に総務・地域振興グループと産業グループの2つあることで非常に紛らわしい。行政も含めてどう認識されているのかお聞きしたい。

**【上越市防災士会浦川原支部】**

防災士会の活動に関する業務は、総務・地域振興グループが主管である。産業グループについては、浦川原支部の事務局が、産業グループの職員だったため、2つの連絡先を記載した。新たに情報を発信する場合は変更させていただく。

**【藤田会長】**

一番大事な部分であり、今後きちんと押さえていただきたい。

**【杉田委員】**

前回発行された防災士会だよりを見させていただいたが、立ち上げ間もないためなのか、PR的な内容が多いと感じた。今後、町内会を通じてこの防災士会だよりを年3回全戸配布されるということで、記事の内容が防災士会の活動状況やスキルアップ等の内容などがメインとなるのではないかとと思われる。また、6月、11月、3月に発行されるということだが、3月は年度末で行政等から発信される情報が多いため、6月、9月、12月などで発行されたらどうかと思う。

**【上越市防災士会浦川原支部】**

防災士だよりの内容について、No.1は防災士会設立当初のため防災士会の紹介し、No.2以降は地域の皆さんのためになる内容を主に発行していく予定である。

発行の時期については決定しているわけではなく、季節ごとに予想される災害の前に発行していきたいと考えている。今後検討したい。

**【藤田会長】**

時間であるため、これで質疑は終了とする。

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【上越市防災士会浦川原支部】**

減額された場合、防災士だよりの発行は難しくなるため、発行回数を減らすなどして対応したい。また、不採択となれば、昨年のように回覧として発行したいと思う。いずれにしても実施しなければならないと考えている。

**【藤田会長】**

それでは「防災士会だより発行事業」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「農地の獣害対策事業」のプレゼンテーションをお願いします。

**【浦川原区農業振興会】**

(農地の獣害対策事業の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

**【池田委員】**

今回の提案は罾にかかったかどうかを知らせる無線機だが、罾自体はどのようなものなのか具体的に教えていただきたい。



**【浦川原区農業振興会】**

罾は「くくり罾」というもので、直径15cmほどの輪の中に足を入れると、締まるといったものである。

**【池田委員】**

トラバサミとは違うものなのか。

**【浦川原区農業振興会】**

現在、トラバサミは法律で禁止されていることから、くくり罾か箱罾が主流である。箱罾は重く山の中まで運搬することが大変であり、くくり罾に対応するものである。

**【杉田委員】**

テレビでイノシシ被害のニュース等も見っていて、このような提案は良いことだと思う。しかし、捕獲管理システムの購入よりも罾を設置するスキルアップの方が先決ではないかと考えるが、いかがか。

**【浦川原区農業振興会】**

実際に罾免許の取得者が集まり、大学の先生から研修会等受けている。去年は上越市谷浜で実地訓練に参加した。簡単には捕獲できないと皆さん思うかもしれないが、やり方次第であるということであった。現在、私たちも猟友会に加入して、スキルアップを目指して練習している最中である。実際に捕獲できるかどうかはわからないが、罾を仕掛けても見回りが大変であり、今回提案させていただいた捕獲管理システムが必要である。

**【藤田会長】**

イノシシ等、捕獲した個体はどのような方法で処理されるのか。

**【浦川原区農業振興会】**

山へ埋めるか、食用に適していれば持ち帰って命をいただくということになる。捕獲時期にもよるが、臭いがきつい、オス、メス、年齢等で食用に向かない場合もあり、そういったものは山に埋めるしかないということである。

**【藤田会長】**

くくり罾は年間とおして捕獲して良いのか。

**【浦川原区農業振興会】**

猟友会より市へ申請しており、年間通じて、雪が降るまで捕獲が可能である。

**【藤田会長】**

時間であるため、これで質疑は終了とする。

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状

況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【浦川原区農業振興会】**

減額された場合は購入数を減らし、事業を実施したい。

**【藤田会長】**

それでは「農地の獣害対策事業」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「第7回うらスポマラソン大会」のプレゼンテーションをお願いします。

**【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】**

(第7回うらスポマラソン大会の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

**【池田委員】**

収支報告書の支出、管理費の中に給料手当、外注費などある。施設管理や受付事務等の業務をされている人の構成など教えていただきたい。

**【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】**

管理費は、全て上越市の委託事業に係る経費である。

浦川原体育館は日中、午前8時30分から午後5時までが1人、午後5時から利用団体の終了時間によって違うが、午後10時まで1人常駐している。日中に常駐している人はスポーツクラブの事務員であり、夜は3人体制でシフトを組んでいる。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。

看板についてだが、発注済みなのか。またワンタッチテントと音響設備は他の団体からも提案があり、調整が必要だと考えるが。いかがか。

**【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】**

看板については発注も終わり設置済みである。今回、コースの変更に伴い、必要なものであったため、着手させていただいた。

ワンタッチテントと音響設備に関しては、ご指摘のとおり、他の団体が提案していることは承知している。借用が可能であれば対応したいと考えるが、プレゼンテーションで説明したとおり、当団体の名前入りのものがあれば当団体の宣伝になるため、提案させていただいた。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ】**

減額されても予定どおり事業を実施する。

**【藤田会長】**

それでは「第7回うらスポマラソン大会」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「ふるさと公園観桜会等活動支援事業」のプレゼンテーションをお願いする。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

(ふるさと公園観桜会等活動支援事業の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

ふるさと公園の桜を楽しむ会の皆さんは、提案書にあるように観桜会やカラオケ大会、お盆の行事、秋の紅葉についても開催を検討されている。また冬の灯の回廊についても参加されており、年間を通してご努力されていることについて敬意を表する。

どの団体にも言えることだが、会員の高齢化によりテントの設置等は大変な作業であるため、今回の提案も理解できるものであるが、他の団体よりテント購入の提案があることから、慎重に協議させていただく。

**【村松進副会長】**

藤田会長の言われるように、テントは他の団体からも提案されており、どこか一つの団体が購入して、それを貸し借りして利用するというのが良いのではないか。また、保管場所も一か所だけとなり、効率的だと考えるが、そういったことが可能かどうかお聞きしたい。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

現在は手持ちのテントがないため、毎年、近隣の業者から借用している状況である。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

減額されても予定どおり事業を実施する。

**【藤田会長】**

予定された時間より早く進行しているので休憩に入り、午後4時から再開する。

(休憩後、午後4時より再開。)

それでは、「うらがわらファミリーコンサート事業」のプレゼンテーションをお願いします。

**【浦川原音楽協会】**

(うらがわらファミリーコンサート事業の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

提案書の収支計画等の支出の部に音響費9万7,200円が委託として計上されている。これは機械設備の技術費と解釈したが、その下、器楽機材費として15万円ほど計上されているが、音響費との整合性はどうか解釈すればよいのか。

もう一つ、雑費の中で、ゲスト御花代とある。ゲストへの花代は、観客が自主的に渡すものであり、主催者側が用意するべきものなのか、教えていただきたい。

**【浦川原音楽協会】**

音響費の件だが、説明欄に委託と記載しなければ分かりやすかったと思う。提案書にユニゾンクリエイトからの見積書があるが、音響機器の借上げと運営費、オペレート料と、ピアノの調律料である。

器楽機材費は、我々の自主コンサートや出張コンサートで使用する機器を毎年、少しずつ揃えているところである。また、浦川原区内の団体、個人、学校等で音楽発表の機会を得たいということで、借用したいといった申し出があればお貸しする。

我々としては、これは住民の共有財産であると認識しているため、管理等を浦川原音楽協会が行うということである。

御花代だが、ご指摘のように観客から花を出していただければ良いのだが、我々、主催者側からゲストへの感謝の気持ち、セレモニー的なものということで、こちら側からお渡ししている。

**【藤田会長】**

器楽機材費については、他の団体からも購入申請があり、調整させていただくことになると思うが、よろしいか。

**【浦川原音楽協会】**

資料を見たら他の団体からも同じような機器の購入もあるということで、できたら我々の機器を購入させていただき、それをお貸しするというにしていだけたら、ありがたいと考える。

**【藤田会長】**

時間であるため、これで質疑は終了とする。

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【浦川原音楽協会】**

減額されても予定どおり事業を実施する。

**【藤田会長】**

それでは「うらがわらファミリーコンサート事業」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「浦川原・柴又交流事業」のプレゼンテーションをお願いします。

**【柴又交流実行委員会】**

(浦川原・柴又交流事業の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

**【村松進副会長】**

冬の交流ツアーにおいて柴又の人たちが浦川原へ来るということになっているが、提案書を見ると、柴又側の人たちのバス代等、全てこの地域活動支援事業で賄われている。この事業を計画・実施するに当たって、柴又側とどのように実施していくのか、費用負担の在り方など協議していただいた方が良いのではないかと思う。皆さんが努力されていることは理解するが、趣旨が違っているのではないかと感じる。

### 【柴又交流実行委員会】

先日開催されたフロリズフェスティバルへ参加させていただいた。そこで昨年、冬の交流に参加したかったが申し込まなかったと言われた人とお話させていただいた。何か情報の行き違いがあったようで、柴又側では浦川原の現地集合、現地解散で参加募集の告知があったということで、参加しなかったということであった。やはり、東京の人が、いきなり浦川原へ家族や個人で来るということはハードルが高いのではないかと感じる。しかし、往復の足があるのならば、ぜひ、参加したいと言われていた。柴又小や柴又自治会等で参加を募っても観光バス1台はすぐに埋まってしまうと思われる。

また、以前浦川原村で実施していた「柴又フェスタ」では、浦川原商工会が中心となり、帝釈天の境内で実施していた。いまだにその頃のことを覚えている人がたくさんおり、浦川原の品物が欲しい、浦川原の人たちと交流したいと言われていた。しかし柴又の人たちも年配の人たちが多く、なかなか浦川原まで出向くといったことが、難しいと感じる。

我々、浦川原側として、柴又まで行き商いをさせていただくといった部分もありながら、柴又側と交流する。ビジネスチャンスにつながるきっかけになるのではないかと思う。

このフェスタは葛飾区と話を進めており、柴又自治会のバックアップを得ながら、まだ仮の日程ではあるが11月16日（土）、17日（日）の日程で準備を進めている。

### 【藤田会長】

時間であるため、これで質疑は終了とする。

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

### 【柴又交流実行委員会】

減額されても予定どおり実施する。

### 【藤田会長】

それでは「浦川原・柴又交流事業」のプレゼンテーションを終了する。

（次の提案団体と交代）

次に「ふるさとを送ろうキャンペーン事業」のプレゼンテーションをお願いします。

### 【山本ぶどう組合】

（ふるさとを送ろうキャンペーン事業の提案書に沿って説明。）

### 【藤田会長】

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

昨年、山本ぶどう祭りを中止された理由をお聞かせいただきたい。

**【山本ぶどう組合】**

結論から言えば、ぶどう農家の高齢化が中止の大きな原因である。ぶどう祭りの準備は、ぶどう作りの一番忙しい時期と重り、昨年3月に全戸を対象にぶどう祭りについて、どう考えているかアンケートをとった。その結果、99.9%の人が、ぶどう祭りよりもぶどう作りを頑張り、美味しいぶどうを提供したいという結果であった。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【山本ぶどう組合】**

減額されても予定どおり実施する。

**【藤田会長】**

それでは「ふるさとを送ろうキャンペーン事業」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「遊歩道と山・観音堂コースに道案内標柱設置事業」のプレゼンテーションをお願いします。

**【熊沢町内会】**

(遊歩道と山・観音堂コースに道案内標柱設置事業の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【熊沢町中井】**

道案内看板は14枚あり、減額された場合は、山側などの迷いやすいところの看板から設置していきたい。また、パンフレット等の枚数も減らして実施していきたいと考えている。

**【藤田会長】**

それでは「遊歩道和山・観音堂コースに道案内標柱設置事業」のプレゼンテーションを終了する。

(次の提案団体と交代)

次に「うらがわらまつり等地域活性化事業」のプレゼンテーションをお願いします。

**【特定非営利活動法人夢あふれるまち浦川原】**

(うらがわらまつり等地域活性化事業の提案書に沿って説明。)

**【藤田会長】**

これについて委員の皆さんから質疑等受ける。いかがか。

(会場内より「なし。」の声)

浦川原区への配分額である540万円に対して246万8,000円が超過している状況であるため、補助金希望額より減額された場合でもこの事業を実施されるかお聞きしたい。

**【特定非営利活動法人夢あふれるまち浦川原】**

今回、ワンタッチテント7組と音響設備の提案をさせていただいた。減額された場合、できれば音響設備はお願いしたい。なお、ワンタッチテントは来年度以降に申請していきたいと考える。

**【藤田会長】**

これで、12団体からのプレゼンテーションを終了する。

採点が終わった委員より採点票を事務局へ提出いただき、休憩に入っていただきたい。休憩の間に事務局が個人審査の集計作業を行うこととし、は午後5時30分より再開し、全体審査を行う。

(休憩後、午後5時30分より再開。)

**【藤田会長】**

それでは、再開する。

これより「② 全体審査」に入る。事務局より個人審査の集計結果の説明をいただき、その後皆さんからの意見等をいただきながら、まとめていきたい。

**【総務・地域振興グループ山崎グループ長】**

(集計結果について説明。)



**【藤田会長】**

浦川原区の配分額の540万円に対し、246万8,000円オーバーしている状況である。皆さんから忌憚のない意見をお聞きして、進めていきたい。活発な発言をお願いする。なお、プレゼンテーションにおいて全ての提案団体から減額されても事業を実施することを確認していることをご承知願う。

それでは、委員の皆さんから発言を受ける。いかがか。

**【村松進副会長】**

No.9「浦川原・柴又交流事業」であるが、私は不採択としたい。

私も浦川原村時代に柴又フェスタに参加したことはあるが、参加費用については、浦川原村、浦川原農業協同組合、そして出店者からの売り上げとしていた。宿泊などは参加団体が自費で行った経緯があった。

今回の提案書を見ると全ての費用をこの地域活動支援事業で賄っているが、この交流の実施に当たっては、旅費交通費や宿泊費など、私はこの地域活動支援事業を使うべきものではないと考える。

次に、No.2「うらがわら雪あかりフェスタ」、No.3「地域活性化モデル事業」、No.5「農地の獣害対策事業」、No.7「ふるさと公園観桜会等活動支援事業」、No.10「ふるさとを送ろうキャンペーン事業」については、私は満額採択と考える。

また、No.11「遊歩道和尚山・観音堂コースに道案内標柱設置事業」は、昨年も頑張っていたが、遊歩道が迷いやすいということであれば満額採択と考える。

最後にNo.12「うらがわらまつり等地域活性化事業」の提案内容が、他の団体からも提案されているので、皆さんと協議して決定したいと考える。

**【藤田会長】**

村松進副会長よりNo.2、3、5、7、10、11の6団体に対して満額採択の意見をいただいた。

私もNo.9の「浦川原・柴又交流事業」は不採択と考える。昨年度、浦川原・柴又交流30周年記念事業の提案があり78万円で採択した。その際、採択の条件として、浦川原側と柴又側もそれぞれ組織を立ち上げていただき、今後の交流について見える形にしていだきたいとお願いしたところである。

今回の提案内容を見ると、全ての事業が浦川原側から一方的に費用を出し、そこに柴又側が乗っかるというように見えることから、地域活動支援事業の採択方針に適していないと感じる。

次にNo.4の「防災士会だより発行事業」についてだが、発行の必要性はあると考える。

しかし、提案書に「行政からの要請もあり浦川原支部を設立した」とあるが、頻繁に防災士会だよりを発行することは不要だと考える。申請は年3回、4か月に1回ということで、そのことも含めて審議をお願いしたい。

**【大坪所長】**

補足させていただく。

市から防災士へ各区に防災士会の設置を進めている。

しかしその内容は、防災士として個々に資格を取得している人同士の連携を図るための組織として進めているところである。

**【総務・地域振興グループ山崎グループ長】**

広報上越で適宜、防災士の活動を周知しており、市としては、今後も防災士だよりの発行は予定していない。また、所長が補足したとおり、防災士だよりを発行することは、防災士会独自の活動であり、市では地域における防災士の認知度向上や、地域との連携を深めることを目的として、浦川原区の町内会と防災士会支部との地域別防災研修会を今後も、引き続き実施していくことを考えている。

**【大坪所長】**

市では、防災士会浦川原支部が防災士だよりを発行について制限していない。

**【和栗委員】**

プレゼンテーションの際、前回は回覧で配布したときに読まれなかったと言われていた。全戸配布だと他の文書もそうだが、文字を読むことが面倒になり、結局読まれない可能性がある。逆に回覧の方が、目につきやすいのではないかと思う。

市等でも注意喚起の文書等もあると思うので、年3回の発行は必要ないのではないかと考える。

**【杉田委員】**

防災士会浦川原支部として、地域の皆さんに防災意識を高める啓発活動として防災士会だよりを発行するということは理解できる。

しかし、私としては防災士が積極的に各町内会へ出かけ、防災意識の向上や避難訓練などを指導された方が良いのではないかと思う。一方、防災訓練や避難訓練が実施できない町内会があり、防災士が活動する場面がないといったお話も聞いている。

しかし、それでも各町内へ出向き、防災に関する啓発活動を実施すべきである。単に防災士会だよりを発行し、町内会組織を利用して全戸配布してもらうということは安易な発

想なのではないかと考える。採択されるとしても、年3回の全戸配布は不要であると考え  
る。

**【藤田会長】**

和栗委員、杉田委員、具体的にどのようなようすればよいかお聞かせいただきたい。補助金希望額が20万8,000円であるが、不採択とするのか、それとも全戸配布ではなく回覧とするのか、金額的なことも含め、お考えをお聞きしたい。

**【和栗委員】**

発行回数については、回覧であればこの3回で良いと考える。全戸配布であれば年1回、防災士の紹介や活用を促す内容で良いと考える。

**【杉田委員】**

私も和栗委員に賛成である。全戸配布であれば、年1回の発行で良いのではないかと  
思う。回覧であれば回数を増やすということも考えられる。

**【藤田会長】**

具体的に金額でいうと、年1回分の発行だと20万8,000円の3分の1の金額とい  
うことで良いか。

**【池田委員】**

行政にお聞きしたい。今回、防災士会浦川原支部からのお話であるが、他の区でもこう  
いった支部はあるのか。

**【総務・地域振興グループ山崎グループ長】**

支部については全市、各区で設立するように働きかけている。近隣区では、大島区、安  
塚区で設立されている。

**【池田委員】**

収支計画等に記載されている防災士会だよりの発行は、年3回の全戸配布として20万  
8,500円とある。1回分であれば約7万円で全戸配布できることになる。

もう一つ、No.9の「浦川原・柴又交流事業」で地域活動支援事業の目的を不適合とした  
人が3人いる。評価の各項目の合計点数を見ると82点であり、他の提案事業の合計点数  
の半分ほどの評価である。

私は地域活動支援事業の審査において、議論するときの基準としているのは、各事業の  
個人審査の合計点数を重視している。

また「浦川原・柴又交流事業」については、今年になって組織を立ち上げられたという  
ことであるが、実態が分かりにくいと感じている。

組織内に10人の構成員がいるとのことだが、昨年度まではNPO法人夢あふれるまち浦川原も柴又交流に関り、他の団体等から協力をいただき実施したが、そこの関係性も見えてこない。

今まで関わってきていたNPO法人夢あふれるまち浦川原や他の団体との話し合いなどがあって組織を立ち上げ事業を実施するといった姿が見えてこない。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。

**【杉田委員】**

「浦川原・柴又交流事業」の提案書を見ると事業に必要な経費全てを並べているだけで、自己負担や参加者からの負担など何もなく、ほぼ全額この地域活動支援事業で賄うということである。減額するとしても何を減額すればいいのかわからない。私は減額ではなく、不採択と考える。

**【藤田会長】**

他にご意見はないか。

No.9「浦川原・柴又交流事業」であるが、浦川原・柴又双方の組織が見えてこない、提案書の収支計画等にも柴又側の負担がない中で、163万6,000円の補助金希望額は採択できないと考える。

委員の皆さんの賛否を聞きたいと思う。No.9「浦川原・柴又交流事業」について、不採択とすることについて賛成される人は挙手していただきたい。

(7人中6人が挙手)

挙手されなかった村松清委員はどのようにお考えか。

**【村松清委員】**

今回不採択となった場合、今後この柴又との交流が無くなってしまわないかといった心配がある。可能であれば合計点数の82点に見合うだけの補助をしてあげたら良いのではないかと考える。

**【藤田会長】**

ご意見として伺うが、昨年度も「浦川原・柴又交流30周年記念事業」の提案があり、その際、浦川原・柴又双方で組織を立ち上げ、対等な関係で交流が進められるよう意見を出し採択した。しかし今回、その方向性が見えてこなかった。村松清委員からご指摘があった事についても、提案団体に意見したと認識している。

それでは、No.9「浦川原・柴又交流事業」は、提案者である柴又交流実行委員会と葛飾

区柴又との双方の協力により実施すべきものであり、双方で応分の負担が必要であるが、柴又側の負担が見えないという意見を付し、この事業を不採択とするがいかがか。

(会場内より「はい。」の声)

次にNo.4の「防災士会だより発行事業」は、3分の1の予算で1回の発行が可能なのではとのご意見があったが、実際に印刷は可能であるか事務局に確認する。

#### 【事務局】

提案書にある収支計画等に印刷費として20万8,500円とある。1回分の印刷費はカラー印刷やサイズ変更等があれば、金額は変わってくるが、提案書にあるとおりカラーコピー機のA4両面印刷で6万9,500円とあるため、池田委員の言われた約7万円で印刷が可能である。

#### 【藤田会長】

それでは、No.4「防災士会だより発行事業」は、年1回分の印刷費6万9,000円を採択する。なお、「発行回数や配布方法を検討するとともに、防災士会と支部の役割や動向を整理」することを意見として付することとするがいかがか。

(会場内より「はい。」の声)

次にNo.1「第11回浦川原和太鼓祭」とNo.6「第7回うらスポマラソン大会」について、ご意見はないか。

#### 【和栗委員】

No.6「第7回うらスポマラソン大会」とNo.12「うらがわらまつり等地域活性化事業」は同じワンタッチテントと音響設備の購入を申請されている。どちらかで採択し、貸与することで対応が可能と考える。また、「第7回うらスポマラソン大会」はテントに名前を入れると言われていた。名前を入れるのであれば、誰でも供用できるように「浦川原」とした方が良く考える。

#### 【藤田会長】

この地域活動支援事業において、複数の団体が希望するものを重複して採択してはならないと考える。他の団体に貸与することで対応が可能であれば、供用すべきである。

#### 【村松進副会長】

うらがわらスポーツクラブはプレゼンテーションの際、ワンタッチテントや音響設備について、他の団体が採択された場合は借用して対応すると言われていた。イベント等の日程が重ならないのであれば、No.12「うらがわらまつり等地域活性化事業」を採択して、他の団体へ貸与することで良く考える。また、和栗委員の意見のようにテントに文字を

入れる場合、「浦川原」とした方が良いのではないかと考える。

**【藤田会長】**

確認だが、No.6「第7回うらスポマラソン大会」においては、ルート表示看板は作成済みであることから、その費用のみ採択するということがかか。

**【池田委員】**

藤田会長の意見に賛成である。ルート表示看板の38万2,428円の採択で良いと考える。

**【藤田会長】**

事務局に確認だが、消費税も加味して39万円の採択で良いか。

**【事務局】**

事業費は税込であるので、事業費を38万2,428円とし、補助金額は38万2,000円で良い。

**【藤田会長】**

それでは、No.6「第7回うらスポマラソン」だが、ルート表示看板の38万2,000円とし、提案のあったワンタッチテント及び音響設備については、他の団体から借用して対応することで減額採択することがかか。

(会場内より「はい。」の声)

また、No.12「うらがわらまつり等地域活性化事業」提案団体のNPO法人夢あふれるまち浦川原は浦川原区の住民組織であり、うらがわらまつりに使用するワンタッチテントや音響設備を採択することで、区内の他の団体に貸与する対応が可能であるため、採択することがかか。

(会場内より「はい。」の声)

そのほか、ご意見はないか。

**【池田委員】**

No.4「防災士会だより発行事業」、No.6「第7回うらスポマラソン」を減額採択、No.9「浦川原・柴又交流事業」を不採択としたことで、補助金希望額が浦川原区への配分額を下回ったのではないか。

**【事務局】**

事務局で整理させていただいた。

No.4「防災士会だより発行事業」6万9,000円、No.6「第7回うらスポマラソン大会」38万2,000円、No.9「浦川原・柴又交流事業」は不採択となり、補助金額の合

計は505万8,000円である。

**【藤田会長】**

浦川原区への配分額を下回っているが、No.1「第11回浦川原和太鼓祭」について協議いただきたいが、この和太鼓祭は、毎回浄財を集めている。事業を実施し、それに付随して浄財という寄付金が入っている以上、当然そのイベントでの収入になるということを考えていただきたいと思っている。

**【池田委員】**

昨年度も提案があったこの浦川原和太鼓祭だが、プレゼンテーションにおいて、実際に浄財がいくらあるのか質問した。今年度の和太鼓祭でも浄財を集めると思うので、収支計画の収入の部分へ上げていただきたいと思ったと思う。

採点結果一覧の特記事項欄を見ていただきたい。No.1「第11回浦川原和太鼓祭」に「支援を得なくても自立できるよう、内部留保を蓄えてほしい。」、No.2「うらがわら雪あかりフェスタ」に「本年度からでも区内企業の賛助をいただくようにしてほしい。」、No.3「地域活性化モデル事業」に「現金をもっと増やしてほしい。」それとNo.8「うらがわらファミリーコンサート事業」に「入場料を取るなど、財政面を含め自立してほしい。」と私が意見を記入した。

今ほどの審査の過程で、今年度の提案事業のうち3事業が減額や不採択となり、浦川原区への配分額を下回った状況にある。

私たち地域協議会委員は、この100%税金である地域活動支援事業がどのような目的に使われ、それが地域の課題解決や活性化につながるかを審議することが重要である。

**【藤田会長】**

浦川原区への配分額である540万円から事務局が集計した額を差し引くと、残額は34万2,000円であり、追加募集を行うことで、有効に活用していただけるような提案が出てくる可能性もある。

追加募集について、委員の皆さんからご意見をいただく。

**【杉田委員】**

私は追加募集で良いと考える。

**【池田委員】**

私も追加募集で良いと考える。

**【村松進副会長】**

確認だが、不採択や減額採択となった事業以外は満額採択でよいか。

**【藤田会長】**

今ほど村松副会長から意見があったが、再度確認する。

No.4「防災士会だより発行事業」、No.6「第7回うらスポマラソン大会」を減額採択し、No.9「浦川原・柴又交流事業」は不採択とする。これ以外の提案事業については、満額で採択することでいかがか。

(会場内より「はい。」の声)

それでは、残額の34万2,000円についてだが、追加募集に賛成する意見が多く出ているがいかがか。

**【杉田委員】**

追加募集に賛成である。

**【藤田会長】**

それでは、追加募集するということによろしいか。

(会場内より「はい。」の声)

それでは追加募集に係る今後の手続きについて、事務局から説明いただく。

**【事務局】**

今後の手続きであるが、追加募集を実施するうえで、当初募集と同様に募集期間を定める必要がある。その後、募集期間等の周知及び提案の受付を行い、再度、地域協議会において採否を決定することとなる。そのため本日は、募集期間を決めていただきたい。

**【池田委員】**

追加募集の締め切りは6月末で良いのではないかと思う。

**【事務局】**

募集期間を長くすることで提案される団体が多く出てくるのではないかと想定される。ただし、募集期間が長くなれば、それだけ提案事業の実施日が遅れることになり、事業実施が苦しくなることも想定される。

**【池田委員】**

事務局的にはいかがか。

**【総務・地域振興グループ宮川班長】**

募集期間の周知については、6月1日に総合事務所からのお知らせを全戸配布するため、追加募集に関する記事を掲載することは可能である。そのほか防災行政無線を活用して周知も可能である。

**【藤田会長】**



それでは、浦川原区への配分額の残金34万2,000円を追加募集することとし、募集期間は6月1日（土）から6月28日（金）までとする。また、審査については、7月の地域協議会において行うこととするのでよいか。

（会場内より「はい。」の声）

これで令和元年度浦川原区地域活動支援事業の審査を終了する。

続いて「4 その他」の「(1)次回の開催日時等について」、6月19日（水）午後6時30分よりコミュニティプラザの市民活動室4・5で開催と考えている。よろしいか。

（会場内より「はい。」の声）

他に皆さんから何かないか。

（会場より「ありません。」の声）

それでは第2回浦川原区地域協議会を閉会する。

## 9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-599-2301（内線305）

E-mail：[uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。